

男女共同参画の必要性

「男女平等」と何が違うの？と思っている人は、意外と多いかもしれません。

男女共同参画社会の定義は「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」。男女平等は大前提、更にその先、人や社会の在り方を考えるものです。

性別によらず「人」として対等に暮らしていける社会は、互いに認め合う気持ちが一一人一人に育まれて初めて実現するものであり、ジェンダー、ワーク・ライフ・バランス、LGBT、DV等の理解も不可欠です。

「参画」という言葉は「仲間に加わる」だけでなく、物事の決定に至るまでの話し合いの場に加わり、「女性も男性も主体的かつ平等に意思決定のできる社会を創り出そう」という姿勢を打ち出しています。

男女共同参画（社会）は他人事ではありません！